

（臨床研究に関する公開情報）

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

高齢者における腰椎固定術後の地域生活の変化～E-SAS を用いて～

[研究責任者]

リハビリテーション科 理学療法士 石井 達也

[研究の背景]

本邦での腰椎の有訴率は高齢になるほど上昇し、70歳以上の女性では約35%です。高齢化が進んでいる地域では、腰痛を原因に医療機関を受診する患者において、変形性脊椎症は全体の約36%を占めており、高齢者においては男性約80%、女性約65%と高い有病率を示しております。標準治療の一つとして腰椎固定術があります。その他には腰椎椎間板切除術や腰椎後方除圧術があります。腰椎固定術を行う事により著明な神経症状及び疼痛の緩和、運動機能の向上によりADL、IADLの向上が期待されています。

[研究の目的]

本研究は患者様が自宅へ戻った際の地域生活がどのように変化するのか明らかにする研究です。

[研究の方法]

●対象となる患者様

2019年1月1日～倫理審査委員会承認日までに当院で胸・腰椎疾患と診断、手術を実施し、リハビリテーションを施行した70歳以上の患者さんの治療に関する情報を、カルテ上から調査いたします。

●研究期間

倫理審査委員会承認後から2020年9月30日まで

●利用する検体、カルテ情報

検体：該当しません。

カルテ情報：脊椎疾患、年齢、性別、身長、体重、BMI、手術方法、術前の歩行能力、歩行能力

●情報の管理

この研究では、患者さんのカルテ情報を紙媒体にて収集しますが、個人情報は分からないように適切に管理します。また研究結果は、脊椎手術後リハビリテーションの進

歩の目的にのみ使用し、鍵を掛けることができる保管庫にて5年間保管します。その後は、収集された情報が外部に漏れることがないように十分注意して廃棄します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施する研究です。

【実施医療機関】

国立病院機構岡山医療センター
〒701-1192
岡山市北区田益 1711-1
TEL：086-294-9911

【研究責任者】

リハビリテーション科 理学療法士 石井 達也

【研究分担者】

リハビリテーション科 理学療法士長 松尾 剛
リハビリテーション科 理学療法副士長 桑本 美由紀
リハビリテーション科 理学療法主任 安川 達哉
リハビリテーション科 理学療法士 安藤 可織
リハビリテーション科 理学療法士 竹原 典子
リハビリテーション科 理学療法士 中野 綾乃
リハビリテーション科 理学療法士 中路 哲司
リハビリテーション科 理学療法士 宮下 広大
リハビリテーション科 理学療法士 岡田 真理香
リハビリテーション科 理学療法士 勝谷 友裕
リハビリテーション科 理学療法士 勝部 翔
リハビリテーション科 理学療法士 羽田 楓
リハビリテーション科 理学療法士 代入 望里
リハビリテーション科 理学療法士 森 雄基
リハビリテーション科 理学療法士 原田 大樹
リハビリテーション科 医長 塩田 直史
リハビリテーション科 医長 西崎 真里
整形外科 医長 竹内 一裕

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

【本研究に関する問い合わせ先】

〒701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

リハビリテーション科 理学療法士 石井 達也

電話 086-294-9911（代表） FAX 086-294-9255（代表）